

特集 AIと循環器診療

企画・構成／小寺 聡

識る

- 1 AIとともに挑む、循環器研究の新しい波
- 2 医師のための深層学習入門
- 3 大規模言語モデル入門：
医師のための基礎ガイド
- 4 今日から始める循環器医のプログラミング
- 5 医療AIの倫理問題：現代医療の新たな挑戦
- 6 **Expertise** Chat GPTと医療

診る

- 7 AI技術によるX線診断の革新：
胸部X線写真から新たな生体情報を読む
- 8 心電図とAIの融合：現在地と未来
- 9 AIが支える心エコー診断の革新と精度向上
- 10 AIの力で進化する冠動脈CT診断技術
- 11 **Expertise** ウェアラブルAIで変わる日常の健康管理

治す

- 12 高血圧管理を変える革新的アプリ
- 13 AIを駆使した心臓リハビリの最前線
- 14 テクノロジーが支える心不全ケアの未来像
- 15 AI技術を活用したOCT診断と
カテーテル治療の新しい地平
- 16 **Expertise** アメリカにおける
AI支援治療の先進事例と展望

バックナンバー

Back Number

2024年8月号 激アツ！本気の心房アブレーション

企画・構成／永嶋孝一

識る

1. 12誘導心電図からの診断：頭の中ではもうマッピングは始まっている 松井優子
2. カテ室での診断：頭の中では頻拍回路と治療戦略はもう見えている 平田 脩
3. マッピングの機器と方法：
アクチベーションだけじゃない、リアルな心房を描ききれ 渡邊隆大
4. マッピングカテーテル：局所の電位にとことんこだわれ 黒田真衣子、廣島謙一

診る

5. 心房頻拍：とりあえず早いところを焼く時代は終わった 阪井論史、藤本 源
6. 順方向性回帰性頻拍：Kent束だけではない、ORTの深い沼 岡田真人
7. 逆方向性回帰性頻拍：Kent束・Mahaim束への誘い 前田宗一郎
8. 房室結節リエントリー性頻拍：
なかなか姿を見せないslow pathwayの可視化への挑戦 若松雄治

9. 発作性心房細動：

- 透視を使わないのが、そして再発しないのが当たり前の時代へ 大島 司

10. 持続性心房細動：見えてきたぞ、持続性心房細動というブラックボックス 川治徹真

11. 通常型心房粗動アブレーションrevisit：基礎にして奥義 関原孝之

12. 非通常型心房粗動：どんな複雑な回路も見えてきたぞ！ 橋本健司

13. 心房期外収縮：本当は教えたくないnon-PV triggers ablationのコツ 高麗謙吾

治す

14. アブレーションカテーテル：
人類のdurabilityへの挑戦は今どこまできているのか 森 仁

15. バルーンカテーテルによる肺静脈隔離：結局どのバルーンが一番いいの？ 安元浩司

16. バルスフィールドアブレーション：人類が未来に期待するものは 河村岩成

17. 気をつけなければいけない合併症 笠井裕平

2024年9月号 冠微小循環障害 Update

企画・構成／辻田賢一

識る

1. 冠微小循環障害とは？ その発生と解剖・病理をおさらいする 雨宮 妃
2. 心筋虚血のメカニズムおよび冠血流調整における冠微小循環の役割 澤山裕一、中川義久
3. [Expertise] INOCAの病態と冠微小循環障害の位置付けを理解する 神戸茂雄、安田 聡
4. [Expertise] 心腎連関の視点から考える冠微小循環障害 香山京美、瀬尾由広
5. [Expertise] 日本における冠微小循環障害の現状 武田守彦、下川宏明

診る

6. 心電図での虚血評価を見直す 小菅雅美
7. 心臓核医学による冠微小循環障害の評価 真鍋 治、三浦史郎、相川忠夫、玉木長良、真鍋徳子

8. [Expertise] 冠微小循環障害診断としての包括的診断手順：IDP A to Z 伊藤亮介、田中信大

9. [Expertise] 冠静脈洞でとらえるダイナミックな心筋エネルギー代謝変容 有馬勇一郎

治す

10. 冠微小循環障害・微小血管狭心症の治療 須田 彬

11. PCI症例に合併する冠微小循環障害をどうとらえ、どう治療するか？ 菅野義典、米津太志

12. 心リハで冠微小循環障害を治せるか？ 杉山拓史、巴 崇、安 隆則

13. 心不全病態の一因としての冠微小循環の役割 坂東泰子

2024年10月号 病理組織像からみる循環器疾患：診療のための道しるべ

企画・構成／加藤誠也

識る

1. 心筋生検総論～適応、鏡検の手順、病理と臨床の連携～ 宇都健太
2. 心不全・心筋症の背後に潜む心筋組織の慢性炎症を識る
～わが国の最新ガイドラインを臨床に活かす～ 松本 学、大郷恵子
3. 心筋疾患の遺伝子診療 久保 亨
4. 病理組織学的視点からみた心臓突然死～致死性不整脈の機序に関連する
心筋組織変化の考察～ 松山高明、中村恵里、森 ちひろ
5. [Expertise] 心筋生検による心房細動の病理組織学的評価 山口尊則
6. Fatty heartの病理組織学 池田善彦
7. ヨーロッパにおける心筋生検の役割と展望～心筋炎を例に～ 甲木雅人

診る

8. 急性期病態における心筋生検～心筋炎の鑑別を中心に～ 丸山和晃、今中-吉田恭子

9. 肥大型心筋症と鑑別が必要な心筋疾患の病理所見 雨宮 妃、植田初江

10. 拡張型心筋症と鑑別が必要な心筋疾患の病理所見 加藤誠也、久保田 徹

11. Cardio-Oncologyを支える病理組織学 畠山金太、池田善彦、大郷恵子、松本 学、雨宮 妃

12. 心筋超微形態の重要性～電子顕微鏡から読み解く心筋生検～ 金森寛充、安田和志、大倉宏之

治す

13. 心臓病理が映し出すリバースリモデリング未来予想図 奥村貴裕

14. 高齢者心不全と心アミロイドーシス 有村忠聡

15. 心臓サルコイドーシス診療の進歩
～ミクロ形態学とマクロ画像を診療に活かす～ 數井 翔、永井利幸

16. 酵素補充療法時代の心筋代謝異常常症～Fabry病を中心に～ 尾上健児

17. 心臓移植の病理組織学 吉澤恵子